

古河歴史見聞録

辰年にちなんで

飯沼新田開発

龍にまつわる信仰

令和6(2024)年も1カ月が過ぎましたが、今年の干支は甲辰に当たります。辰龍は、十二支の中で唯一想像上の動物ですが、中国では常に水中に棲み、必要があれば天空に飛翔することができ、霊力を持つとされています。そこから天と深い関係を持つ皇帝と強く結びつき、権力の象徴とされました。また、仏教を守護する八部衆の一つとされていた龍王とも結びついたといわれています。

日本でも海の世界、すなわち水との関係が深く、雨を降らせる能力を持つと考えられ、そこから稲作等の豊穰や富貴、雨乞いなどと結びついていきました。また、清水が湧くところや沼・池の淵など清浄な場所には龍神が棲むと考えられてきました。



▲八龍神石祠(大堤)

辰年の主な出来事

過去の辰年に起きた出来事としては、まず慶応4年(明治元年(1868))年の明治維新が挙げられます。この時には江戸幕府崩壊に伴い、旧幕府軍がこの地域を通過して大きな混乱をもたらしました。また、明治37(1904)年に始まった日露戦争も辰年に起きた大きな出来事の一つです。

飯沼新田開発

辰年にまつわる出来事の中で、今回は江戸時代中期の飯沼新田開発を取り上げます。飯沼新田開発は、享保7(1722)年8月、沼周りの村々が連名で開発願を江戸幕府に提出し、2年後の享保9(甲辰)年5月に幕府から許可が下りたことで、具体的な事業が動き出しました。

現在の古河市東部を縦断する長大な水田(現南総土地改良区)は、江戸時代中期までは飯沼と呼ばれた沼で、周辺の村々では漁労をしたり、豊富な水草などを肥料として

て活用したりするなど、地域住民の生活と深く関わっていました。

飯沼は、このように漁労や水資源などで地域と関わる一方で、江戸時代の早い段階から干拓計画がたびたび持ち上がっていました。それでも周辺の村々には開発に消極的な村民も多く、なかなか実現には至りませんでした。

しかし享保7年7月、江戸幕府による諸国新田開発奨励の高札が江戸日本橋に建てられたことにより、事態が大きく変わっていくことになりました。幕府が掲げた新田開発奨励政策に飯沼開発計画が結びつけられ、さらに幕府勅定吟味役・井沢弥惣兵衛(為永)以下の幕府関係者の積極的関与により、それまでの地元の利害対立を乗り越えて事業が具体化していききました。事業の中心的役割を担った井沢は、元紀州藩士で八代將軍吉宗に従って幕府の役人となり、各地で河川工事や新田開発に取り組みました。

はじめとする幕府役人や地域住民の努力により、享保12(1727)年ごろには総面積1500町歩、総石高1万4400石の水田へと生まれ変わります。その一環として、長左衛門新田も新たに誕生しました。



▲現在の飯沼新田(東山田付近)

こうして開発された飯沼新田も、その後長く水害に悩まされることになりましたが、地域住民の断続的努力によって「美田三千町歩」と称される水田になったのでした。

三和資料館学芸員 峯照男

【児童書/生活】

小島よしおのボクといっしょに考えよう

小島よしお 著

友だちをつくれる方法はある？ いじめられている子を助けるには？ 小学生22人からの相談に、同じ目線で寄り添って回答する。さかなクンとの対談や、ギャグ図鑑も収録。『AERA dot.』掲載を加筆し書籍化。

出版社…朝日新聞出版

【絵本】

おだんごダイブ

大塚健太 文

小池壮太 絵

とびこみ台に並んだおだんごたちが、あつあつのお湯にドッポーンとダイブ。ゆであがったら、みたらしの池や、きなこのおかで、おいしいおだんごに変身！ 音とリズムが気持ちいい絵本。

出版社…白泉社

図書館の本棚から



とねミドリ館

【一般書/海外生活】

月10万円のできる! 悠々生活タイランド

藤井伸二 著

海外暮らしだからと意気込むことも身構える必要もなし。事前調査から部屋探し、食事や毎日の暮らし、ビザまで、月10万円をテーマとしたタイでの暮らしを紹介する。できるはずなのに、できない理由についても語る。

出版社…イカロス出版

【一般書/小説】

ショート・セール

榎周平 著

悪質なプロ経営者に潰された父の仇を打ち砕くべく、1人の辣腕投資家が立ち上がった。信頼する仲間と共に、世界経済のトレンドと矛盾を利用した一世一代の経済ゲリラ戦を仕掛け…。『小説宝石』掲載を改稿し書籍化。

出版社…光文社



もうひとつの空

Another sky



My memories in KOGA



古河市は大きな災害も少なく、とても住みやすいまち。ずっと住み続けたいです。



市内には池があったり花がきれいだったり、特色のある公園が多いのが魅力。春はハナモモや桜、秋は紅葉と色とりどりに変わる景色が楽しめます。お気に入りの民族衣装を着て散歩をすると、よりリラックスして古河の自然を感じられます。

Name 山口 ジャルワンさん
From タイ
Age 50才
Job 主婦